

「三重県企業庁の経営に関する懇談会」 開催結果概要

1 日 時 平成26年2月5日（水）10：00～12：00

2 場 所 プラザ洞津 3階 菖蒲の間

3 出席者

（1）懇談会委員（敬称略）

- ・中島 福幸 （富士通セミコンダクター株式会社三重工場 総務部長）
- ・野崎 一彦 （セントラルグラスファイバー株式会社松阪工場 工務課長）
- ・林 治門 （鈴鹿市水道局 鈴鹿市水道事業管理者）
- ・伊藤 恵子 （伊藤印刷株式会社 専務取締役）
- ・菱田 幸子 （菱田建材株式会社 取締役）
- ・杉浦 礼子 （高田短期大学キャリア育成学科 教授）

（2）企業庁

企業庁長、副庁長、次長、電気事業対策総括監、企業総務課長、財務管理課長、水道事業課長、工業用水道事業課長、電気事業課長、危機・事業管理監兼RDF発電監 他

4 内 容

（1）説明事項

- ・第2次中期経営計画の概要
- ・水道、工業用水道事業の実施状況
- ・電気事業の実施状況
- ・平成24年度の決算状況
- ・地域とともに発展していくための社会貢献活動について
- ・平成24年度懇談会でのご意見に対する考え方・取組状況

（2）意見交換

5 主なご意見

- ・水の使用量が減っているなかで、契約水量の見直しについて、企業庁の経営状況を踏まえたうえで、単価への反映等も含め検討して欲しい。
- ・市水道事業の費用の中で県からの受水費用が多額であることから、負担の軽減に向け、次期料金改定にあたっては市町からの要望を前向きに検討して欲しい。
- ・災害発生後、どれだけ短期間で水や電気が供給されるかが製品の供給を継続するうえで重要であるので、対策などを相互に進めていきたい。

- 水の供給は非常に大事であり、安心・安定供給のため技術力を継承して行ってほしい。
- 太陽光発電について、広大な土地があるのであれば、もっと事業展開していったらどうか。
- 地震などの講演会などに合わせて「安心」の取組を紹介するなど出前によるPRに取り組むと良いのではないかと。また、団体などへ地域貢献取組の情報提供を行うと良いのではないかと。
- 老朽劣化対策や耐震化については、実施場所や施工内容を具体的にPRして、県民の安心につなげて行ってはどうか。
- 施設への見学者が増えていることは評価できるが、安全に対するリスクも増すのでしっかり対応して欲しい。
- 長期経営ビジョンの目標を実現していくうえで、第2次中期経営計画で設定している指標だけでは評価指標が少なく、適切に経営判断を行うことが困難であると感じられるので、次期の実行計画ではもう少し具体的に目標の達成度や今後の課題を明確にできる指標を設定する必要があるのではないかと。